

# 鉄のよみがえり ものごとがたたり

特別展

2024 10.5 [sat] - 11.24 [sun]

開館時間 10時~17時(入館は16時30分まで)  
休館日 毎週月曜日

ただし10月14日(月)祝、11月4日(月)振替は開館10月16日(火)、11月5日(火)は休館

主催 兵庫県立歴史博物館 神戸新聞社  
後援 兵庫県教育委員会 淡路市教育委員会 宍粟市教育委員会 産業遺産学会 NHK神戸放送局 サンテレビジョン ラジオ関西  
特別協力 産業遺産情報センター(一般財団法人産業遺産国民会議) 和鋼博物館  
株式会社ブローリアル 安来工場 日本製鉄株式会社瀬戸内製鉄所広畑地区  
協力 山陽電気鉄道株式会社 神姫バス株式会社  
協賛 公益財団法人日本教育公務員弘済会 兵庫支部



兵庫県立歴史博物館

HYOGO PREFECTURAL MUSEUM OF HISTORY

〒670-0012 姫路市本町68番地 ☎079-288-9011



れきはく  
公式  
サイト



兵庫県立歴史博物館



@hyogorekinaku



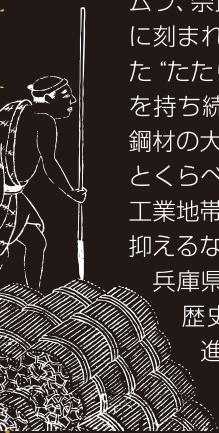
@hyogo\_pref\_museum\_of\_history



# HISTORY OF IRONMAKING IN HYOGO

明石海峡を眼下に望む淡路島北部で弥生時代に営まれた鉄器づくりのムラ、奈良時代の播磨国風土記に記された古代製鉄の記録、中世の刀剣に刻まれた西播磨の「宍粟」や「千草」の地名、そして江戸時代に営まれた「たたら製鉄」など、歴史をひもとくと、製鉄は兵庫県域と長く関わりを持ち続けてきたことがわかります。明治期に入ると欧米諸国からの鋼材の大量輸入や鉄山の国有林化などにより、兵庫のたたら製鉄は他県とくらべて早い時期に終焉を迎えます。その一方で近代以降、臨海部の工業地帯では大規模な製鉄業が始まり、現在では温室効果ガスの排出を抑えるなど自然環境に配慮した鉄づくりへの挑戦が始まっています。

兵庫県立歴史博物館では、平成27年(2015)に設置されたひょうご歴史研究室を中心にして、「播磨のたたら製鉄」の特質の解明を進めてきました。この展覧会では、その研究成果を活かしながら、兵庫県域での鉄づくりのあゆみについて、さまざまな歴史資料により紹介します。



## 1 上映会 『極める・匠と至芸の世界 炎にたくす技と命(玉鋼製造)』(テレビ東京:1988)

日時 | 11月4日(月・振休) ①11:00- ②14:00-  
会場 | 当館地階 講堂

当日受付  
無料

## 2 特別講演会「たたらの実態を解き明かす」

その1 「崩す、流す、溶かす。-たたら製鉄遺跡を遺跡立体図で捉える-」

日時 | 10月6日(日) 14:00-15:30  
講師 | 永恵 裕和 氏(兵庫県立考古博物館学芸員)  
会場 | 当館地階 講堂  
受付期間 | 9月2日(月)~9月18日(水)

事前申込・無料  
定員 80名

その2 「播磨国宍粟郡のたたら製鉄 -古文書から見えてくる姿-」

日時 | 10月14日(月・祝) 14:00-15:30  
講師 | 笠井 今日子 氏(松江歴史館)  
会場 | 当館地階 講堂  
受付期間 | 9月2日(月)~9月24日(火)

事前申込・無料  
定員 80名

※いずれも当館ホームページ、または往復はがきでお申込ください。



	大人	大学生	高校生以下
観覧料	1000円	700円	無料
団体	800円	550円	

※団体は20名以上  
※障がい者及び70歳以上の方は半額  
※障がい者1人につき介護者1人は無料

## 3 れきはくアカデミー 「ひょうごの鉄道と輸入レール」

日時 | 11月24日(日) 14:00-15:30  
講師 | 鈴木 敬二 (当館学芸員)  
会場 | 当館地階 講堂  
受付期間 | 10月13日(日)~11月4日(月・振休)

事前申込・無料  
定員 80名

※当館ホームページ、または往復はがきでお申込ください。

## 4 れきはく連続講座 「古文書に親しむ(『鉄』関連文書を読む)」

日時 | 11月16日(土)・23日(土)・30日(土) 各回 14:00-15:30  
講師 | 大黒 恵理 (当館学芸員)  
会場 | 当館地階 多目的ルーム  
受付期間 | 10月5日(土)~10月28日(月)

事前申込・無料  
定員 20名

※当館ホームページ、または往復はがきでお申込ください。

## 5 ギャラリー・トーク

その1 「展覧会のみどころガイド」  
日時 | ①10月6日(日) ②11月2日(土) 各回 11:00-  
会場 | 展覧会会場

その2 「日本史の教科書に載った“たたら”の絵を解説」  
日時 | 11月3日(日) 11:00-  
会場 | 展覧会会場

当日受付・無料  
※観覧券が必要



前売券(800円) 10/4(金)まで販売  
兵庫県立歴史博物館、姫路市立美術館友の会、中井三成堂、(公財)姫路市中小企業共済センター、姫路市文化国際交流財団(姫路キャスパホール)

10月13日(日)・11月10日(日)は自由に話せる観覧日

小さなお子様連れの方も、静かに鑑賞するのが苦手な方も、周りを気にせず観覧ください。



交通  
駐車場

- JR姫路駅北口、山陽電車山陽姫路駅南の神姫バス姫路駅バスターミナル7番、8番のりばから約8分「姫山公園北・博物館前」下車(国立医療センターを経由するバスならどれでもOK)
- 神姫バス姫路駅バスターミナル6番のりばから城周辺観光ループバスで約8分「博物館前」下車
- 博物館には駐車場がありません。有料駐車場(姫路市宮城の北、姫山駐車場)をご利用ください。
- 大型バスでご来館の場合は、事前に当館へご連絡ください。

兵庫県立歴史博物館  
HYOGO PREFECTURAL MUSEUM OF HISTORY  
〒670-0012 姫路市本町68番地 ☎079-288-9011

表 ①播磨鉄道(現、JR播磨線)の英国製レール 明治26年(1893) 京都鉄道博物館蔵 ②荒尾鉄山前石真跡の画 江戸時代末期 入江正一郎氏蔵 ③脇差 銘 右藤原宗栄 元禄7甲戌年二月日 / 播磨宍粟千種丸一以英鉄鑄作 元禄7年(1694) 姫路市立美術館蔵 ④先大津阿村山砂鉄洗取之図 江戸時代末期 東京大学 工学・情報理工学図書館 工3号館図書室蔵 ⑤たたら操業で使用した道具「小手ほど(ほどつき)」 個人蔵(雲南市寄託 / 鉄の歴史博物館蔵) 島根県指定有形文化財 / 裏 ①波賀森林鉄道「赤西国有林から貯木場へ向かう機関車」 提供:橋元利之氏 ②たたら操業で使用した道具「炭茨(すんどり)」 個人蔵(雲南市寄託 / 鉄の歴史博物館蔵) 島根県指定有形文化財 ③玉鋼でできた大鋸 個人蔵 ④刀 銘 撰州大坂住長幸 / 貞享三年丙寅八月日以播磨国宍粟製鉄作之 貞享3年(1686) 大阪城天守閣蔵 ⑤板鉄鉄斧 五斗長垣内遺跡出土 弥生時代後期 淡路市教育委員会蔵 兵庫県指定有形文化財